

やお発高安能未来継承プロジェクト

八尾市東部の高安地域は能楽との関わりが深く、能楽ワキ方・大鼓方の「高安流」の発祥の地といわれ、その流祖は地域内にある玉祖神社の神官であったとも伝えられています。人気曲の「井筒」や「弱法師」のほかにも八尾・高安にゆかりの能楽曲がいくつもあり、この活動の中で掘り起こしを進めています。これらの高安地域をゆかりとする能楽を「高安能」と称して地域の宝物として大事に次世代へつないでいきたいと考えます。

高安薪能

狂言 「清水」 善竹 忠亮 牟田 素之
仕舞 「井筒」 水田 雄晴〇 「弱法師」 梅若 堯之〇

地謡 林本 大
山田 薫
伊藤 裕貴

能 (観世流)「山姥」

シテ 山中 雅志〇

ツレ 藤井 丈雄

ワキ 原 大〇(高安流ワキ方)

ワキツレ 原 陸 (高安流ワキ方)

アイ 善竹 忠亮 後見 塩谷 恵〇

笛 貞光 訓義〇 後見 水田 雄晴〇

小鼓 荒木 建作〇 地頭 梅若 堯之〇

大鼓 白坂 信行〇 副地 林本 大

(高安流大鼓方) 地謡 山田 薫

太鼓 上田 慎也〇 地謡 伊藤 裕貴

〇印は重要無形文化財総合指定保持者

「山姥」

都で山姥の山廻りの曲舞を得意とし「百魔(ひゃくま)山姥」と呼ばれ人気を得た遊女がいた。遊女は善光寺参詣のため、従者とともに信濃国へ向かうが、急に日が暮れ宿を探していた。そこにやや年嵩の女が表れて、宿を貸そうと申し出た。一行がついていくと、女は自分こそ真の山姥だといひ、遊女に山姥の曲舞を所望した。遊女は夜更けに謡う約束をすると、女は姿を消した。月夜となり、遊女が曲舞の準備をしていると、先ほどの女が異形の姿で現れた。山姥は、「邪正一如」という禅の思想を説き、人も鬼も隔てはないという山姥の生きざまを謡い舞い、山廻りの様子を見せてどこへともなく消えていった。

今回の「山姥」は、現在高安の地に眠る鬼の伝説をもとに復曲を進める「綱」の公演に先駆けて選曲されました。「山姥」と「綱」の鬼は同一ではありませんが、両演目ともシテが鬼を演じる『五番目物』に分類されます。『五番目物』は『切能物』とも呼ばれ、見ごたえも聴きごたえもある演目です。

協賛のお願い

やお発高安能未来継承プロジェクトでは「高安薪能」の開催にあたり、ご協賛いただける市民の方々、企業様、商店主様を募集しています。

協賛へのお礼として協賛金額(一口5千円)に応じて「高安薪能」DVDを贈呈いたします。

また会場に設置の灯籠にお名前を記載する広告協賛(一口1万円)も合わせて募集いたします。

詳しくは八尾市文化会館 プリズムホールホームページ(<https://prismhall.jp/>)をご覧ください。

八尾市文化会館リノアス8階事務所までお問い合わせください。

やお発高安能未来継承プロジェクト これからの取り組み

300年ぶり復曲能「高安」

令和3年10月12日(火)14:00開演

於 とりぎん文化会館 小ホール

(鳥取県立県民文化会館) 鳥取県鳥取市尚徳町101番地5

能「高安」 シテ 山階 彌右衛門

ワキ 原 大 他

全席自由席・税込 3,000円

<チケット窓口>

とりぎん文化会館チケット窓口

プリズムホールウェブサイトチケット <https://prismhall.jp/>

<お問合せ窓口>

高安能未来継承事業推進協議会 事務局

Mail takayasu@caepass.info | 携帯 090-7498-3724 | FAX 072-999-7491

<主催>高安能未来継承事業推進協議会 <共催>(公財)八尾市文化振興事業団

<後援>鳥取県・(公財)鳥取県文化振興財団

能の世界に飛び込んでみよう!

今年度はホールを飛び出して、高安の地でたっぷり能を味わいます! 高安の能体験はもちろん、高安につたわる鬼のおはなしを聞いて、史跡めぐりや心合寺山古墳で能の発表までできちゃう、まる一日満足気分で楽しめるワークショップです。

<募集期間>10月1日(金)~31日(日) 詳細・お申込みはチラシ・プリズムホールホームページをご覧ください! <主催>(公財)八尾市文化振興事業団

令和3年11月27日(土)12:30~16:30

<集合場所>高安コミュニティーセンター <解散場所>心合寺山古墳

※雨天時史跡めぐり・心合寺山古墳での発表は中止

<講師>安福光雄(高安流大鼓方)原大(高安流ワキ方)原陸(高安流ワキ方)

福田和浩(八尾市立しおんじやま古墳学習館 館長)

福田祐美子(八尾市立しおんじやま古墳学習館 学芸員)

動画で楽しむ 能の世界に飛び込んでみよう!

プリズムホールYoutubeチャンネルにて、能を体験できる動画を配信しています!

